

コード	名称	区分	コード	名称			
事業名	238 障害者福祉団体活動支援事業	会計	01	一般会計			
		款	03	民生費			
		項	01	社会福祉費			
基本施策	05 障がいのある人の自立した生活を支える	目	04	障害福祉費			
		細目	193	障害者福祉一般事業			
行革大綱の重点事項番号		6、7		細々目	52	障害者福祉団体活動支援事業	
担当部課	コード	130200		担当者氏名	中出光美	連絡先	22 - 9657
	名称	健康福祉部 障がい福祉課					(内線) 2620

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	障がいのある人	※対象件数
成果(どうする)	障がいのある人が活発に自立して活動ができ、スポーツ大会、福祉大会など社会参加することにより交流を回り、住み慣れた地域で生き生きとした生活が送れる。	
根拠法令・要綱等	健康福祉部関係補助金等交付要綱	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	伊賀市障害者福祉連盟への事業委託及び運営補助 障害者社会参加促進事業委託 団体運営補助	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			連盟の各種活動大会・研修会数	回	目標 20 実績 20	目標 20 実績 21

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				大会・研修会参加者数	参加者の増加を指標とする。	人	目標 941 実績 941

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	3,583	3,583	3,583	3,583	3,583	3,883	3,883	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	3,583	3,583	3,583	3,583	3,583	3,883	3,883	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	4,303	4,303	4,303	4,303	4,303	4,603	4,603	

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	障がいのある人の社会参加などを促進する上で連盟が行う事業は必要である。	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業			
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○ 事業を継続することにより、障がいのある人の社会参加などが促進される。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 有 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	本補助事業については合併以来大幅な削減を行っており、これ以上の削減は見込めない。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	大会及び研修会等への参加者を増やす。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 社会福祉協議会の広報紙などで各大会や研修会の周知を図った。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増田 政美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 事業を継続することにより、障がいのある人の社会参加などが促進される。
現時点における課題、その他	平成23年度に三重県の身体障害者福祉大会を伊賀市障害者福祉連盟が開催する予定であるので、市としても何らかの助成が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成23年度に三重県身体障害者福祉大会開催のための助成を行う。